

政策 06 活力あふれるまちづくり

施策 03 農業の振興

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
大都市近郊の立地という特性を活かした農業が振興しています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	農地の利用集積面積 (ha) 【産業課】	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対基準値
		50.4	50.4	51.6	66.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 平成30年度から利用集積面積、貸手人数、筆数ともに毎年増加し、新規就農者の参入もあったことから、1.4haの利用集積が図られた。 (原因) 農地所有者が高齢化しているため、利用権設定が増加傾向である。今後も利用集積が一定程度進むものと考えられる。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 ■ ■ ■ (中)

指標	地域特産品の出荷量 (t) 【産業課】	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対基準値
		11.2	11.2	12.1	20	☀️ (向上)
評価	(状況) 出荷量は、平成30年度から0.9t増加した。猛暑や台風といった天候による影響、病害虫、木の老化、販路不足、農家の高齢化などの理由により出荷量は、あまり増加しない。今年度より新規就農者のいちじくが出荷し始めるので増加すると思われる。					対前年度 ☀️ (向上)
						目標達成度 ■ ■ ■ (中)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 農地の保全

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	農業振興地域における農地面積 (ha) 【産業課】	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対基準値
		107	107	106.3	92	(横ばい)
評価	(状況) 農地転用は進んだが、農振地域における農地面積は106.3haを維持した。(-0.7ha)					対前年度
		(横ばい)	目標達成度	(---)		

基本事業01 農地の保全

指標	農地保全が必要と思う市民の割合 (%) 【産業課】	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対基準値
		76.2	76.2	79.5	80	(向上)
評価	(状況) 平成22年度から田んぼアート、平成25年度から田んぼイルミネーションを実施しており、成果はやや向上した。 (原因) 平成30、令和元年度の田んぼイルミネーションが、定員を上回る応募があり、好評であったこと。コスモス畑に撮影スポットを設けたこと。周知を積極的に実施したこと。					対前年度
		(向上)	目標達成度	(高)		

基本事業01 農地の保全

指標	耕作放棄地の面積 (ha) 【産業課】	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対基準値
		3.4	3.4	3.5	2.3	(横ばい)
評価	(状況) 農地利用最適化のため、農地パトロールを強化して実施し、農地中間管理事業の活用等により解消を図ったが、結果として0.1ha増加した。					対前年度
		(横ばい)	目標達成度	(中)		

基本事業02 農業基盤の充実

指標	認定農業者数 (人) 【産業課】	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対基準値
		4	4	4	4	(横ばい)
評価	(状況) 認定農業者数の変更はなかったが、認定農業者の高齢化や後継ぎがいけない等の課題がある。令和元年度に認定新規就農者が2名参入し、将来的に認定農業者として定着できるよう支援をしている。					対前年度
		(横ばい)	目標達成度	(達成)		

基本事業02 農業基盤の充実

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	用水路の改修率（％） 【産業課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	基準値
		18.9	18.9	19.1	35	☁ (横ばい)
評価	(状況) 県費補助等による用水路改修を進めているが、目標値を達成できていない。 (原因) 施工単価の高い水管橋を実施しているため、施工延長が伸びない。水管橋改修後に目標値を達成できるよう計画策定が必要である。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						☐☐☐ (中)

基本事業03 都市型農業の推進

指標	地域特産品の数（品） 【産業課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	基準値
		2	2	2	3	☁ (横ばい)
評価	(状況) 現在、特産品はいちじく、プチヴェールの2品であり、品数に変更はない。新たな特産品ができるよう生産、PRをし始めている。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						☐☐☐ (高)

基本事業03 都市型農業の推進

指標	消費者の特産品の認知度（％） 【産業課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	基準値
		77	77	79	80	☀ (向上)
評価	(状況) 特産品の認知度は、いちじく、プチヴェールともに平成30年度から2%増加しており、引き続き地域特産品として周知を図る。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						☐☐☐ (高)

基本事業03 都市型農業の推進

指標	地産地消を心掛けている人の割合（％） 【産業課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	基準値
		62	62	64	70	☀ (向上)
評価	(状況) 地産地消を心掛けている人の割合は、平成30年度から1%増加している。今後は第3次食育実行プランに基づく取組により、成果の向上を図る。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						☐☐☐ (高)

基本事業03 都市型農業の推進

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	農業体験をしたことがある市民の割合（％） 【産業課】	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
		26.3	26.3	26.3	35	
評価	(状況) 農業体験をしたことがある市民の割合は、平成30年度と同じであった。今後もふれあい農園、親子農業塾などにより体験者を増やし、成果の向上を図る必要がある。	(％) 				対 前年度
		 (横ばい) 目 標 達 成 度 (中)				